

フードドライブ実施報告

1 内容

ご家庭で余っている食品を必要としている人へ届けるチャリティー活動で、食品ロスの削減にも繋がる。寄付された食品は稲沢市社会福祉協議会・NPO 法人を通じて必要としている方のもとへ届けられる。

2 実施期間

令和6年4月8日(月)～13日(土)、15日(月)～19日(金) 8:30～17:00

3 実施場所

- ・ 稲沢市資源対策課(環境センター事務棟)
- ・ 稲沢市ボランティアセンター(稲沢東老人福祉センター・東公民館内)

4 対象

賞味期限が1か月以上先の食品(2024年5月19日以降)

※ 開封済み食品(米・個包装除く)、生鮮食品、冷凍・冷蔵品、酒類(調味料除く)は受入れ不可

5 結果

・ 受付場所別集計表

食品分類	資源対策課	ボランティアセンター	市社協職員	合計
米類(白米・玄米など)	134.27	111.10	0.00	245.37
缶詰(肉・果物など)	2.20	11.00	0.50	13.70
インスタント食品	4.21	1.70	0.00	5.91
レトルト食品	17.65	5.50	0.70	23.85
乾物(パスタ・海産物など)	8.26	5.40	0.00	13.66
お菓子	9.62	5.40	0.20	15.22
調味料(味噌・醤油・食用油など)	45.02	2.80	0.70	48.52
飲料(ジュースなど)	23.23	0.00	2.50	25.73
嗜好品(コーヒー・お茶など)	3.50	1.30	0.00	4.80
その他(ベビーフードなど)	2.73	5.50	0.00	8.23
合計	250.69	149.70	4.60	404.99

単位:kg

・ 年度別比較

	H30(秋)	R1(秋)	R2(秋)	R3(春・秋)	R4(春・秋)	R5(春・秋)	R6(春)
受付人数(人)	40	64	86	138	204	180	55
総重量(kg)	424.8	580.0	711.4	3,348.6	2,706.6	2,472.66	404.99
開催日数(日)	1	5	5	14	14	15	11

6 まとめ

昨年度の春開催(984.35kg)と比較すると食品の回収量は大きく減少した。

考えられる要因として、受付期間中、稲沢東老人福祉センターの市民利用が工事で中止されていたことや市内のフードドライブ受付窓口が増加傾向であること、物価高騰などが挙げられる。

また、令和5年12月に実施した可燃ごみの組成調査では、手付かず食品の構成割合が、前回調査時(平成30年12月)の6.5%から3.2%に減少しており、市民に食品ロス削減意識が浸透してきていると考えられる。

市内で発生する余剰食品について、市内を中心に循環させていくためには、本市のフードドライブでの回収量も維持していくことが必要。次回以降について、回収量を維持できるような開催方法を引続き模索していく。

○食品の寄付



のわみ相談所への搬入の様子